

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートGOLD		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 8日		2026年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 1月 8日		2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自立へ向けての支援を取り入れている。	公共交通機関を使う練習など自立したときに必要な力を積極的に支援に取り入れている。	将来どんな仕事に就くのか、どんな仕事があるのか、など見学などできる取り組みを考えていく。
2	従業者の得意なことを活動に取り入れることで活動の幅が広がっていること。 活動内容を十分に精査し個別にもしっかり対応出来ている。	同じような活動が被らないよう活動プログラム作成の時に確認をするようにしている。 活動の内容により、部屋の構成を変化させることができる。 支援のより必要な児童に対して、寄り添いながら成功体験を増やせるようにしている。	職員間で振り返りをしっかりとすることで次につなげていく事をより強化する。
3	職員間での日々の振り返りの中で、児童の気づきを得たり、理解を深めたりすることが出来ている。 職員間の仲の良さ。	リーダーが活動の中心になり、スムーズに生活のリズムや支援へとつなげていく姿がある。 普段からのコミュニケーション。	今後の活動内容を活動の方向性と具体的な取り組みなどを職員間で話し合っていくこと。 ミーティング、普段のコミュニケーションからの支援のアイデア。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者に向けて行事や、事業所の状況を情報発信をしているつもりだが、保護者が受け取れておらず、「わからない」「どちらともいえない」という回答が見られたこと。	行事などの予定を発信しているが、実施した後の報告を発信していなかった。また、個人での連絡は密に取っているが、HPやSNSでの発信が少ないため、広く情報が発信されていなかったり、情報を検索したいときに見つけづらい。	発信数や発信の方法を増やす。保護者の受け取りやすい方法を検討し、多面的な発信をしていく。また、災害対策や感染症防止対策などのマニュアルなどをいつでも確認できるようにHPなどに掲載する。
2	職員の知識・スキル不足。 従業者の少なさ。	一人一人の認識に違いがあり、支援が十分に行き届いていない。 送迎等、時間のズレで事業所に残る従業者が少なくなりやすい。	研修の中で、具体的な事例を検討しながらより実践的なものとする事で理解を深めていきたい。 送迎の調整をして、登所児童の支援に入れるようにすることが必要である。
3	児童・生徒の自主的活動の時の環境設定及び働きかけ。 高学年向けの遊び道具が少ない。	自主性を育てていく為の手立て。 子どもたちへの聞き取り不足。	児童生徒の得意な分野への見出し、働きかけ。 子どもたちから聞き取り、必要な物の購入、もしくは作成をする。